

任意  
合併

# 協議会だより

発行 / 佐久市・臼田町・浅科村・御代田町任意合併協議会

事務局 / 佐久市大字中込3056 佐久市役所3F

## 「新市建設計画構想原案」が 中間報告されました

「新市建設計画構想策定委員会」では、昨年10月24日に任意合併協議会から諮問を受け、新しく誕生する10万都市の将来像の検討・協議を進めています。

5月30日に開催された任意合併協議会において、策定委員会より新市の将来人口・財源推計と検討中の新市建設計画構想原案が中間報告されました。

この新市建設計画構想原案は、策定委員会において引き続き、検討・協議を重ね、今年の8月を目途に任意合併協議会へ答申

される予定です。

今回の協議会だよりでは「新しい市の将来像はどうなるのか」という住民の皆さんの声にお応えするために、策定委員会から中間報告された内容を要約してお知らせします。

なお詳細につきましては、佐久市役所内の任意合併協議会事務局及び佐久市以外の3町村の企画担当課で閲覧できます。



五稜郭 (臼田町)



旧中込学校 (佐久市)



寒の水 (御代田町)



五郎兵衛新田 (浅科村)

## 新市の将来人口は、 11万人(平成37年)に

急激に減少する日本の人口  
爆発的に増加する世界の人口

現在、日本の人口は、国立社会保障・人口問題研究所が低位で推計した人口数をたどっています。推計によると平成18年にピークを迎えた後、今世紀末には、4,000万人台まで急激に減少し、更に15~64歳の生産年齢人口は、今世紀半ばには、現在の半分になるとも予測されています。

また「※合計特殊出生率」は、平成13年に1・33人と過去最低となり、総人口の減少と共に、少子高齢化にも拍車がかかることを意味しています。

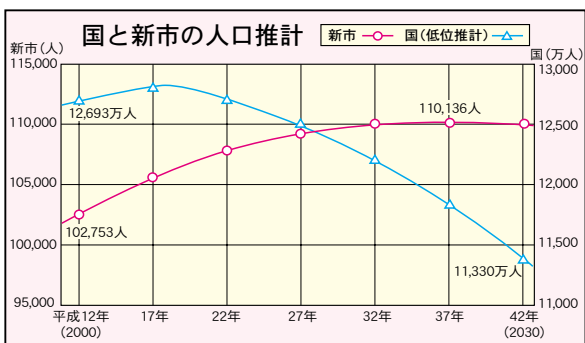
一方、世界の人口は、20世紀初めの16億人から、現在約63億人と急激なスピードで増加を続けており、2050年には93億人に達すると予測されています。特に発展途上国における近年の人口増加は「人口爆発」と呼ばれ、少子高齢化に直面している先進国とのアンバランスは、食糧問題や経済発展の面からも地球規模の重要な課題とされています。

## 増加する新市の人口

平成12年の国勢調査による4市町村の総人口は、10万2,753人です。推計では、平成37年に11万1,336人まで増加し、人口のピークを迎えます。

この後は、新市においても、国の少子高齢化と同様に、年少人口や生産年齢人口が減少し、高齢化率が増加します。そして国より20年遅れて、人口減少へと転ずると予測されます。

また、4市町村の合計特殊出生率は、1・66人(平成12年)と全国平均を上回っており、全国的に人口減少傾向にある中で稀少な地域となっています。



(資料：国立社会保障・人口問題研究所及び任意合併協議会)